

しまねガールズ・サイエンスプロジェクト

# リケジョ からの メッセージ2

島根大学男女共同参画推進室ロールモデル集 Vol.4

JST  
女子中高生の  
理系進路選択  
支援プログラム  
受託事業

## はじめに

島根大学は、平成 29 年度から「しまねガールズ・サイエンスプロジェクト」を実施しています。このプログラムは女子中高生の科学への興味を促し、自分自身の将来を見据えたキャリアデザインを考える場を提供し、理系へのイメージを変え、理系キャリアの意識醸成を図ることを目的としています。

理系進路を考えるためには、理工学系、医学薬学系の各分野で活躍している先輩方、ロールモデル（自分にとって、具体的な行動や勸化型の模範となる人物・「あの人のようになりたい」という、影響を与える人物）となる人の話を身近に聞ける機会があることが大事になってくると思います。今回、プログラムを実施していく中で、理工学系、医学薬学系の各分野で活躍している先輩に出会うことができました。その先輩方に仕事の内容やその仕事を選んだきっかけ、その仕事に就いて良かったことや苦労したことをお聞きし、さらに中高生の皆さんへのメッセージもいただきました。

この冊子が、一歩一歩自分の足で踏み出そうとしている中高生の皆さんのさらなる飛躍に貢献できることを願って、お届けしたいと思っています。

また、本企画の趣旨にご理解とご協力をいただき、インタビューを受けてくださった先輩研究者の皆さんに、この場を借りて心からお礼申し上げます。

国立大学法人島根大学  
男女共同参画推進室

## 目 次

しまねガールズ・サイエンスプロジェクトについて	2
地域課題を知る「IT を使って地域課題を解決しよう」	3
地域課題を知る「流域の環境循環を知ろう！」	6

## ロールモデル集

島根富士通社員	岡 佳織 さん（株式会社島根富士通）	10
神戸天然物化学社員	奥井 純花 さん（神戸天然物化学株式会社）	11
ゴビウス職員	梅原 里歩 さん（宍道湖自然館ゴビウス）	12
医師	木下 香織 さん（松江赤十字病院）	13
医師	中島 香苗 さん（益田赤十字病院）	14
医師	山口 祐貴 さん（益田赤十字病院）	15
助産師	村上 和代 さん（松江生協病院）	16
看護師	板垣 美沙 さん（島根大学医学部附属病院）	17
理学療法士	福谷 早耶香さん（島根大学医学部附属病院）	18
栄養士	矢田 里沙子さん（島根大学医学部附属病院）	19
大学教員	王 傲寒 さん（島根大学）	20
大学教員	室田 佳恵子さん（島根大学）	21

## しまねガールズ・サイエンスプロジェクトについて

島根大学では、科学への興味を持ち、自分自身の将来を見据えたキャリアを考えられる女子中高生の教育活動に取り組んでいます。そのため、女子中高生それぞれの状況や習熟度に合わせて選べるように Step1～4 の事業を実施します。

女子中高生だけでなく保護者・教員も一緒に理系キャリアについて考えてみませんか。



### サイエンスの学びを知る

サイエンスが身近にあることやおもしろさを知ってもらうために、「サイエンス講演会」「出前授業」「体験学修」「研究室見学」を実施します。



### サイエンスキャリアを知る

理系キャリアに対する意識変化を促すため、多様な人材が活躍している企業、病院、研究機関、教育機関などにおいて見学会を実施します。



### 地域課題を知る

地域課題におけるサイエンスの役割を知り、仕事の意義について理解するため、仕事をしている人たちとの意見交換会やワークショップを実施します。



### キャリアをデザインする

自分自身の目的に合ったキャリアをデザインできるよう、女性研究者などの先輩リケジョとの意見交換会やキャリア相談会などを実施します。

## 地域課題を知るって!?

地域課題におけるサイエンスの役割を知り、仕事の意義について理解するため、仕事をしている人たちとの意見交換会やワークショップを実施しました。



IT を使って地域課題を解決しよう  
(2018.8.7 島根大学)



流域の環境循環を知ろう  
(2018.8.8 大根島産直市)



最先端の医療テクノロジーに触れてみよう  
(2018.8.9 松江市立病院)



病院の仕事を知らう  
(2018.8.10 松江赤十字病院)



島の生物学  
(2018.10.26 島根県立隠岐高校)



研究者から見る隠岐の魅力  
-ヌタウンギの話+α-  
(2018.10.29 島根県立隠岐高校)

## 地域課題を知る 「IT を使って地域課題を解決しよう」

日時 2018.8.7 11:30~12:00

場所 島根大学総合理工学部 1号館 2階 240室

出席者 司会 島根大学総合理工学部教授 平川正人さん  
島根大学大学院 1年生 Bさん（自然科学研究科）  
島根大学 4年生 Aさん（総合理工学部）  
島根県立高校 1年生 Cさん、Dさん  
松江市立中学 2年生 Eさん  
松江市立中学 1年生 Fさん

### はじめに

司会：今日は平川研究室で行っているITを使った地域課題の解決について、紹介をした後、現役女子学生と話をしてもらいます。

### 地域には向き合うべき課題がある

司会：私たちの研究室では、附属病院と連携して手指の機能検査法を開発したり、転倒予防に役立つ歩行の様子を分析するツールを介護施設の協力の下で開発したり、透析を専門としたクリニックとは透析患者のための生活支援システムを作成したりしています。

例えば手指の機能検査法について紹介すると、人間にとって手はとても大事です。ボタンをとめたり、外したりということがで



きなくなると、途端に不便になります。こういう時に病院で治療を受けるのですが、どのくらい手の機能が落ちたのか、良くなったのかということ客観的に患者さんに知ってもらうことが大事です。実は病院で行っている機能評価は基本的に目視で、おおざっぱです。それを数値で表すことで、患者さんに現状について客観的に知ってもらうことができ、患者さんのやる気が出てきます。そういう気持ちを持っていただくためにやり始めた仕事です。

附属病院の先生たちとは、「せっかく作るのであれば、今までにない評価ができるようにしましょう」と、一緒にディスカッションしながら開発を行いました。実際の問題を解決しようとした時、机の上で考えているだけでは気づかないことがたくさん出てきて、発想が広がります。また知っておかなければいけないことも身につけることができます。

例えば、ヒトを対象にした実験を行おうとした場合、「医の倫理委員会」に申請して、「そういう実験を行ってもいいですよ」という許可を得なければなりません。また秘



密保持も大切です。地元企業と一緒にって何か取り組みを行うときには「秘密保持契約書」というものを交わします。「ここで話したことは他言しません」という約束をするもので、これを最初に結んでおかないと一歩も先に進むことができないのです。

さて、私の話はこれくらいにして、学生から研究の紹介をしてもらおうと思います。

A さん：私は中学生を対象とした図形の証明問題のグループ学習を支援するようなプログラムの開発を行っています。私が中学生の頃は一人で証明問題を解くことが多かったのですが、グループで解くことで、自分ではわからなかった解き方を知ることができるというものです。最近では ICT と言って、電子黒板などを使った授業が行われていますが、私はタブレットを使った授業を考えています。

グループのみんなで仮定を考えたり、ここに線を引いたら「それは同じだよ」みたいなことを話し合ったりしたうえで、さらにクラス全体でも共有していくような活動ができるようにしたいと思っています。

E さん：それは、どのようなシステムで作っているのですか。

A さん：プログラム開発にはアンドロイドスタジオというツールを使っています。

B さん：私は AR の研究をしています。みなさん、AR って聞いたことがありますか？

生徒の皆さん：わかりません。

B さん：AR とは「Augmented Reality」の略で、一般的に「拡張現実」と訳されます。

これは、現実社会にバーチャルの視覚情報を重ねて表示することで、目の前にある世界を「仮想的に拡張する」ものです。私はこれをスマートフォンでできるようにして、手軽に AR を体験できるようにしていきたいと思っています。この箱にスマートフォンをセットしてのぞいてもらうと、周りの風景の上にシュークリームが浮いて見えます。これを利用すれば、例えばこの AR メガネをかけたら、壁紙の色や模様をいろいろ変えてみるといったこともできるようになります。そんなアプリを作ろうと考えています。



**これは何だろう、と疑問を持つことが大事**

司会：この部屋の中で「どうしてだろう」と思うものはありますか？

C さん：天井に機械がついている。

E さん：部屋にカーペットが敷いてあって、部屋に入るときに靴を脱ぐこと。

司会：そうですね。天井の機械はプロジェクタですが、別にそこでなくても構いませんよね。靴を脱ぐことについては、部屋に土を

持ち込まない、掃除が楽ということが理由だと思いますが、本当に必要なかどうか、当たり前と思わずに「これはどうしてだろう？」と思うことが大事だと思います。他にも、どうして目は顔の前にだけあるのでしょうか。後ろについていれば、例えば不審な人がついてきていてもすぐに分かって安心ですよ。極端な例かもしれませんが、研究にあたっては、そういう疑問をもつことが大事です。

### 理系を選んだ理由

Cさん：私は高校1年生ですが、文理選択で悩んでいます。大学生のみなさんは、どうして理系に進んだのですか？

Aさん：私の子どもの頃に、スマホが出てきたり、ハイテク家電が出てきたりして、理系は苦手だけど興味を持ち、知りたいと思いました。

Bさん：理系教科の点が良かったこと、家にパソコンがあってインターネットで遊んでいて面白いと思ったからです。

Dさん：高校の先生からは「理系に進むと、選択肢が狭まる」と言われましたが、どうですか？

Aさん：それは違うと思います。むしろ理系は選択肢の範囲が広がると思います。私は就職活動をした経験から、情報の仕事は幅が広く、理系であることが理由で就職に困ることはないと思います。

司会：皆さん、何歳ですか？女性の平均寿命は87歳です。皆さんは人生の2合目辺りにいることを考えると、まだまだ先は長いですね。その人生を“今は”「数学が苦手だから」といった理由で選んでほしくありません。興味あることを選択し、たとえ足りな

い力があっても、これから勉強していけばよいと思いませんか。

現在では、ビューティーテクノロジーと言って、つけまつげをコンピュータ操作の道具にしたり、髪の色を自由自在に変える仕掛けを作るといった研究分野もあります。情報分野は女性の視点や発想がますます求められている分野です。自分の好きなことは何だろうとよく考えて、是非ともその道を進んでいってください。



## 地域課題を知る 「流域の環境循環を知ろう！」

日時 2018.8.8 11:00~11:30

場所 大根島産直市 大根島の恵み食堂だんだんね～

出席者	司会	島根大学保健管理センター教授	河野美江さん
		自然再生センター副理事長	渡部敏樹さん
		自然再生センタースタッフ	須山大輝さん
		自然再生センタースタッフ	中浜晶子さん
		島根県立高校3年生	Bさん

### はじめに

司会：先ほど、中海にてオゴノリ刈り体験を行い、オゴノリを撒いた畑で里芋が育っている様子を見ていただきました。今年は水温が高いためオゴノリが育っておらず、刈ることは出来ませんでした。そういう自然環境の厳しさも含めて、大根島で行っている循環型システムについて自然再生センターの皆様から紹介いただき、地域課題の解決について、話し合いたいと思います。

### 循環型システムとは

須山：私は島根大学で水や環境を学び、昨年卒業しました。中海のオゴノリをとって畑に撒き、里芋を育てる事業を行うために、自然再生センターで働いています。最近持続可能性とか、循環型と言われますが、ということだと思いませんか。これは、ただ畑や海だけ見ているのではなく、山で降った雨が中海に流れるというように自然の恵みを考えることです。この中には人の循環も入ると思います。自分達の様な自然に興味がある若者や、企業・研究者が、地域の人たちと繋がっていくというのも、循環で大事です。自分は自然が好きなので、次の

世代に残していこうと思っています。

渡部：自然循環はすごく難しいです。昔オゴノリは食料で、漁師はオゴノリを刈って食料に、農家はアマモを採って肥料にしていました。昔は家畜が少ししかなくて、糞を肥料として使うほどなかったのも、この農家も船を持っていて、アマモを採って畑に撒いていたのです。これが中海をきれいにし、肥料にすることで循環になっていました。

今はオゴノリもアマモも使われなくなったので、中海ではオゴノリが繁殖し水が汚れていました。8年前にこのプロジェクトを始めた時、オゴノリにはたくさんヘドロがついていましたが、その周りには小さいカニや魚がいっぱいいました。毎年オゴノリを刈って6年ぐらいたったら、海がきれいになり、取って洗ってすぐ食べられるようなきれいなオゴノリになりました。しかしそのオゴノリには魚がおらず、調べてみたら魚のえさになるプランクトンがなかったのです。本当は6-7年たったらオゴノリもきれいで魚も取れ左団扇になるはずだったのですが、水とオゴノリがきれいになると魚がいなくなってしまったのです。

これはオゴノリを採ったから、ということだけではなく、道路ができて山から川や海に流れる湧水を遮断してしまった。山にいい流れがなく、落ち葉もなくなり自然のろ過装置もありません。あまりに人工的になってしまって、いい循環がない、ということも関係していると思います。本当にすごいことになってしまいました。しかし、それを元に戻すことは出来ないのです、これからどうすればいいのか、暗中模索の状態です。

司会：自然は「これをこうすればいい」というような単純なものではなく、「ここをよくすれば、こちらは悪くなる」というような多面的なものなので、広い視野で考える必要があるということですね。こういう問題に対しては、研究者、地元の人、一般の人が一緒に考えていく必要がありますね。



#### 一般の人に興味を持ってもらうために

中浜：私はもともと大学では地域系を勉強し、昨年こちらで働いています。私は文系出身なので、農業、漁業に密接に関係している理系の考え方について、今勉強しているところです。ただ私が知らないということは、一般の人にも知らないということだと思うので、その人たちにわかりやすく

伝えるということが自分の役割だと思えます。渡部さんや須山さんのような理系の人にはもちろん大事ですが、私のような人が関心を持ってもらえるようにしていきたいと思う。

渡部：自分は昭和 11 年生まれですが、子どもの頃からずっと海に潜って遊んでいました。でも今は「危ないから」と、子どもたちは海で遊ぶことも、禁止されています。こういう中で自然や海に興味を持つことは難しいのではないかと危惧しています。

#### 環境循環に必要なこと

B さん：私は自然のことは自然に放っておけば自然に戻ると思っていました。今皆さんの話を聞いて、自然のことは放っておいたら戻らないということがわかりました。今日オゴノリは全く刈れなかったのですが、この体験をして、環境を循環させるには、人がいないと出来ない、多くの人が協力して解決していかないといけないということがわかりました。

渡部：今、科学の力のみがあまりに重視され、経験の力が無視されていると思います。経験の知恵があるはずの農家の人たちが、農作物の育て方については農協に行って話を聞いています。もちろん科学的な考え方は大事ですが、私たちは経験も大事にし、自然をよく見ながら自然に従って、自然治癒力に「ちょっと力を貸す」ということだと思います。

司会：それぞれの立場で「ちょっと力を貸す」ということが大切だと思います。それぞれが自分に出来ることを考えていきたいです。今日はどうもありがとうございました。



# ロールモデル集



島根富士通は、ノートパソコンやタブレットを基板製造から組み立てまで一貫して行う日本一のパソコン製造会社です。高い生産技術とICT/IoT技術を活用し、「スマートなものづくり」によるマスカスタマイゼーションの実現に向け取り組んでいます。また、高いものづくり力を活かしたサービスビジネスにも力を入れています。島根富士通は、これからもお客様のご要望に応えられる製品・サービスを提供していきます。

## Q. 仕事内容や魅力について

**A.** 仕事内容は、パソコン製造工程で、どうすれば一番効率良く早く組み立てることができるか、どうすれば品質のよい製品を作ることができるか考え、製造ラインに取り入れていくことです。

## Q. 仕事を選んだきっかけ

**A.** 大学時代は生物の遺伝子の研究に携わっていましたが、地元の島根で就職したいと考えて、島根富士通に入社しました。



製造統括部 装置製造部 岡 佳織さん

## Q. 仕事と生活（趣味・家事・育児）の両立について

**A.** 私には子供が二人いるので、朝は子供を送りださなければなりません。島根富士通は、小学6年生までの子供を持つ従業員には勤務時間を調節できる制度があるので、この制度を利用して会社の出勤時間が本来ならば8時15分のところを8時45分にしてもらい、朝、子供が学校に行くのを見送ってから出勤しています。このような制度があることで、女性も働きやすい環境になっているのかなと思います。

## 岡さんのある日のタイムスケジュール

6:00	.....	8:45	.....	17:00	..	18:00	..	19:00	..	20:00	..	21:00		
起床		子送 出 供 り 社 を 届 け 学 校 に か ら		勤 務		退 社		帰 夕 宅 食 の 支 度		夕 食		風 呂		就 寝

## 中高生の皆さんへ

部活に積極的に取り組んでいました。勉強も大切ですが、部活動での先輩、後輩との関係は社会に出てからのコミュニケーション力に大きく影響しており、いい経験だったと思います。友人関係は大切にしたいほうがいいと思います。社会人になっても、付き合いのある学生時代からの友人がいるので、休日のリフレッシュにもつながり充実した生活を送ることができています。



神戸天然物化学では、みなさんの暮らしをより良くする様な、新しい製品を作り出すための化合物を作っています。例えば、お薬に含まれる有効成分、テレビ・スマホなど電化製品を作るのに必要な材料などです。この会社で作る材料「化合物」で、今はまだ治すことが難しい病気を治せる日が来るかもしれません。

## Q. 仕事内容や魅力について

**A.** 品質管理の仕事をしています。原材料の入荷から製造、保管、品質試験、出荷までのモノ作り全体の品質を守るのが私たちの仕事です。出雲工場で試験検査された製品は、製薬会社や化学メーカーで最終形態に加工され、国内のみならず海外にも流通しています。



## Q. 仕事を選んだきっかけ

**A.** 就職活動をするときの譲れないポイントが、自分が学んできた「化学」に携わる仕事がしたかった点と、「島根」で就職したいという2点でした。神戸天然物化学はそれが揃っており、この仕事を選びました。

出雲品質保証部  
出雲品質保証課 奥井 純花さん

## Q. 仕事と生活（趣味・家事・育児）の両立について

**A.** 働きやすい会社です。結婚して子供ができて働き続ける女性が多くいます。優秀な社員が長く勤められるよう、家庭と仕事を両立できる環境が整っています。

## 奥井さんのある日のタイムスケジュール

7:00	...	8:00	.....	12:00	.....	18:00	...	19:00	...	20:00	...	21:00	.....	23:00		
起床・食事		出勤		昼休み		仕事		退社・買い物		夕食準備・夕食		夕食の片付け		趣味の時間 フリータイム		就寝

## 中高生の皆さんへ

中学生だとまだまだ進路が決まっていないと思います。今はいろんなことにチャレンジして進路に幅を持たせるといいと思います。私は、中学・高校では部活を楽しんでいました。ただ、小さい頃から「大学に行きたい。」と思っていたので、テスト前の勉強と宿題だけはしっかりやっていました。私たちと一緒に、「まだここにいる」を作る化学のプロをめざしましょう！



島根県立宍道湖自然館ゴビウスは、汽水をメインテーマとした水族館として、2001年4月に開館しました。島根県の川や宍道湖・中海に生息する生き物、約200種10,000匹を展示しています。園児や小学生とその保護者などが多く来館されます。常設展の他に2ヶ月間にもおよぶ特別展や旬の生きものを紹介するトピック展示、毎月1回の観察会などのイベントを開催しています。

## Q. 仕事内容や魅力について

**A.** 私は飼育展示係ですので、主に調餌（餌を作る）、給餌（餌を与える）、掃除という「3ジ」の仕事をしています。ほかには、生き物のガイドやイベントの企画・実施をしています。ゴビウスは中海や宍道湖など、島根県にいる生き物をメインに展示しています。それらの生きものの多くは自家採集といって、自分達で網ですくったり、釣りで捕獲しています。また、一般の方から珍しい生き物を寄贈してもらったり、漁師さんに協力していただいたりすることもあります。



業務管理課  
飼育展示係 梅原 里歩さん

## Q. 仕事を選んだきっかけ

**A.** 高校生のときにカエルが好きでした。なので、カエルのお世話ができる仕事につきたいなと思いました。高校卒業後に、大阪にある専門学校で水族館のスタッフを目指すコースに入り、現在の飼育展示係となりました。

## Q. 性別による向き不向きはありますか

**A.** 実はこの仕事は荷物の運搬など力仕事が多く、私ではなかなか活躍ができずに、悩んだことがありました。ですが、ガイドやイベントを担当する際に、女性ならではの雰囲気作りはできるかなと思い、自分が出来ることを頑張っています。

## 梅原さんのある日のタイムスケジュール

7:00	...	8:30	.....	9:30	..	11:00	12:00	.....	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	.....	23:00
起床		出勤		開館 開館作業 ミーティング		調餌（餌の準備）	昼休み		水掃除 水槽チェック	閉館作業	退社	帰宅・夕食	入浴		フリータイム 就寝
				異常はないか等確認 館内や生物、水槽の											

## 中高生の皆さんへ

あきらめ癖のある私ですが、就職してからは、「あきらめず頑張ってよかった」と思えることがたくさんありました。やる気が出ない時、学業を投げ出したくなる時もあると思いますが、粘り強く取り組んでみてください。やってみたら、意外と簡単にできたり、良いことがあったりします。



松江赤十字病院は、昭和11年に設立され、現在27診療科、599床を有する総合病院です。『人道・博愛』の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献することを病院の理念としており、地域の基幹病院として「高度」「良質」な医療を提供します。また急性期病院、救急病院として保健・医療・福祉・介護機関との一貫した医療を行っており、災害時の救護にも貢献しています。

## Q. 仕事内容や魅力について

**A.** リハビリテーションは患者さんが退院後より良い生活ができるようにするために患者さんの機能を回復させることです。医師は診察をし、どのようにリハビリを進めていくのか考え、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士といった実際にリハビリを実施する職種に指示を出したり、主治医とそれらの療法士との調整役となったりします。患者さんが退院後も安全に生活できるよう、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー等といった職種とも連携しています。患者さんが元気になって退院されると役に立てたと感じやりがいを感じます。



## Q. 仕事を選んだきっかけ

**A.** 親が工学の研究をしていて自分も理系の研究をしようと思っていました。大学では生物学がおもしろいと感じ生物学科で研究をしていましたが、そんな時災害が起き、ボランティアに参加しようとしたのですが自分に何ができるかわかりませんでした。研究は長い目で見れば人の役に立てるかもしれないがすぐに役に立てる仕事をしたいと考え、災害などどのような状況でも対応でき、人の役に立てる医師になりたいと思い医師を目指すようになりました。

リハビリテーション科 医師 木下 香織さん

## Q. 仕事と生活（趣味・家事・育児）の両立について

**A.** 周りの人にも頼りながら生活しています。自分が頼るべきところでは周りの人に助けをもらい、逆に人が困っている時は自分が助けるように、夫、職場の方、子育て仲間等と協力しながら生活をしています。

## 木下さんのある日のタイムスケジュール

6:00	7:00	...	8:00	9:00	.....	12:00	13:00	..	15:00	..	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	
起床	食事	送りの子（小学生）を上の子を出す	出勤	外来業務	入院患者さんの診察	昼休み	外来・病棟業務		入院患者さんの検査		退社	子供のお迎え	買い物	帰宅・夕食準備	子供と一緒に宿題を見る	入浴	就寝 子供の寝かしつけ

## 中高生の皆さんへ

今勉強していることはなんでも役に立ちます。知識もたくさん必要ですがそれは大学へ入ってから学べるので今は学校の授業を頑張れば良いと思います。知識だけではなく勉強以外のことも大切なので勉強だけではなく、部活動や遊びなどもしっかりとすると良いと思います。



益田赤十字病院は、1919年に青原組合医院によりスタートし、1954年に日本赤十字社に移管され、現在に至っています。20もの診療科が設置されており、多職種で連携し患者様に安心した医療と看護を提供しています。地域医療機関と連携し、急性期医療を中心に展開しています。また、災害救助活動も行い、災害が起きたときはDMATや救護班という医療チームを編成し被災地で医療活動を行う等、多くの場所で活躍しています。

## Q. 仕事内容や魅力について

**A.** 成長していく子ども達の姿を見られることに魅力を感じます。将来、小児科の医師になりたいと言ってもらえることもあり嬉しいです。

## Q. 仕事を選んだきっかけ

**A.** 看護師である母の姿を見て育ってきました。高校生の時に、自分はCareだけではなくCureもしたいと感じるようになりました。子どもと母親の味方になりたいと思って小児科医になりました。



小児科医師 中島 香苗さん

## Q. 仕事と生活（趣味・家事・育児）の両立について

**A.** 仕事と子育ての両立は難しいです。基本的には自分で全部やりたいけど、自分の両親に手伝ってもらったり、当直を免除してもらったりなどの配慮をして頂いています。

## 中島さんのある日のタイムスケジュール

5:00	6:00	7:00	.....	18:00	19:00	.....	23:00
起床・犬の散歩	子朝どもを準備こす	出勤	病棟・外来診療	帰宅	夕食	犬の散歩	入浴
			など業務の記入				就寝

## 中高生の皆さんへ

目標があると達成するために何をすればよいか考えることができます。皆さんの周りにはお手本となる大人たち（仕事、振る舞い、人となりなど）がたくさんいると思います。そんな大人たちを観察するといろいろなことが見えてきて、小さな目標がたくさんできると思います。医療系に進むためには興味をみつけて勉強して、意欲につなげていくことが大切だと私は思います。



益田赤十字病院は、1919年に青原組合医院によりスタートし、1954年に日本赤十字社に移管され、現在に至っています。20もの診療科が設置されており、多職種で連携し患者様に安心した医療と看護を提供しています。地域医療機関と連携し、急性期医療を中心に展開しています。また、災害救助活動も行い、災害が起きたときはDMATや救護班という医療チームを編成し被災地で医療活動を行う等、多くの場所で活躍しています。

## Q. 仕事内容や魅力について

**A.** 楽しいと感じるのは検査をしているときや治療がうまくいったときですね。患者さんがやりたいことができるようになるように治療をして、「ありがとう。」と言ってもらえることに魅力を感じます。人の身体には絶対がなく、全員を救えるわけではないことが大変です。



## Q. 仕事を選んだきっかけ

**A.** 曾祖父母が住んでいた所は医療機関が近くになく、週に1回医師がきて診察を行っていて、何かあったときにどうするのだろうと感じていました。両親が医療職だった影響もあり、医師になりました。

消化器内科医師 山口 祐貴さん

## Q. 仕事と生活（趣味・家事・育児）の両立について

**A.** 緊急の呼び出しなど、予定外の仕事もありますが、他の先生と不在時のフォローをお互いにすることで、土日遠出をしたり、スポーツに没頭したりすることができています。

## 山口さんのある日のタイムスケジュール

6:00	..	7:00	..	8:00	.....	13:00	.....	19:00	..	20:00	..	21:00	..	22:00	..	23:00				
起床		出勤・食事		回診		外来または検査		昼休み		病棟業務検査		帰宅・食事		家事		フまたは勉強タイム		入浴		就寝

## 中高生の皆さんへ

夢がかわっていくことはあると思います。分からないことは調べて、学んでいく癖をつけておくことが大切なのではないかと思っています。



1960年に23床の病院として開設して以来、まちの中の総合病院として発展してきました。2015年4月には医療療養病棟を開設して病床数は351床となり、救急・急性期・回復期・慢性期までを担う高機能大規模ケア・ミックスが展開できるようになりました。また、せいきょうサポートセンターを設置し、医療と介護・在宅をつなぐ連携の強化を図り、地域の皆様から頼りにされ、質の高い医療を提供できる病院を目指していきたいと思います。

## Q. 仕事内容や魅力について

**A.** 外来での診察介助や新生児の沐浴、育児技術の指導など様々な仕事をしています。女性が妊娠、出産し、出産後の子育てをするまで継続的に関わります。赤ちゃんと母親だけでなく、父親や兄弟とも関わる場面があり、出産・子育て、赤ちゃんの成長を共に喜ぶことのできるとても魅力的な仕事です。



きらり助産院  
助産師 村上 和代さん

## Q. 仕事を選んだきっかけ

**A.** 父親が病気であったことがきっかけで、中学生の頃から看護職に就きたいと思っていました。看護学校の実習でお産を見学し、産婦さんとの関わりの中で魅力を感じたことが助産師を選んだきっかけです。

## Q. 仕事と生活（趣味・家事・育児）の両立について

**A.** 勤務時間が決まっていないため、家にいる時に呼び出しがあり出勤することがありますが、この仕事にやりがいを感じるので、家事と両立しながら働いています。

## 村上さんのある日のタイムスケジュール

6:00	..	7:00	..	7:50	8:15	8:30	.....	12:00	.....	17:30	..	18:00	..	19:00	.....	0:00				
起床		弁当作り		朝食・洗濯	出勤	職場到着		勤務開始		昼休み		退勤・買い物		帰宅・夕食準備		夕食	家事	フリータイム		就寝

## 中高生の皆さんへ

助産師の仕事は、自らも一人の女性として、多くの女性を支援できる魅力的な仕事だと思います。



島根大学医学部附属病院は、昭和54年に設置され、現在600床を有しています。「地域医療と先進医療が調和する大学病院」を理念としており、県内唯一の特定機能病院として主に急性期医療や高度な医療を担っています。また、都道府県がん診療連携拠点病院として、包括的ながん医療を推進するとともに、地域の基幹病院として、島根県の地域医療に貢献しています。

## Q. 仕事内容や魅力について

**A.** 早産時や疾患を持って生まれてきた患者赤ちゃんの全身状態の観察や、必要な処置の介助、呼吸器の管理や薬剤の管理、哺乳の介助やおむつ交換などが主な仕事内容です。赤ちゃんが少しずつ元気になっていく姿を見られるのが、言葉で伝えきれない感動と喜びがあります。

## Q. 仕事を選んだきっかけ

**A.** 人と話すことが小さいころから好きだったため、人と関われる仕事につこうと思い、人のために自分が何かできることをしたいと思い、看護師を選びました。



NICU(新生児集中治療室) 看護師 板垣 美沙さん

## Q. 仕事と生活（趣味・家事・育児）の両立について

**A.** 仕事と家事・育児が両立できるように、家族の協力はもちろんですが、周りのスタッフにも協力してもらっています。また、育児期間中には育児部分休業という制度を利用させて頂き小さい子供を育てながらも、仕事を両立することができました。

## 板垣さんのある日のタイムスケジュール

4:00	.....	6:00	..	7:30	.....	17:30-18:00-18:30	19:00	..	20:00	..	21:00	..	22:00
起床	家事	子供起床	学校へ行く準備	朝食	出勤	退勤	夕食の準備	夕食	片付け・入浴	子供の宿題	学校の準備	フリータイム	就寝

## 中高生の皆さんへ

NICU看護師は小さな命を預かり、とても繊細で精神的にもハードですが、赤ちゃんが少しずつ成長し退院する姿をみることや家族と一緒に成長を喜ぶことができ、とてもやりがいのある仕事です。



島根大学医学部附属病院は、昭和54年に設置され、現在600床を有しています。「地域医療と先進医療が調和する大学病院」を理念としており、県内唯一の特定機能病院として主に急性期医療や高度な医療を担っています。また、都道府県がん診療連携拠点病院として、包括的ながん医療を推進するとともに、地域の基幹病院として、島根県の地域医療に貢献しています。

## Q. 仕事内容や魅力について

**A.** 理学療法士は、病気やけが等により今まで行えていた事が出来なくなった方に対し、運動療法や物理療法にて運動機能・能力の維持・改善を目的とします。小児～高齢者まであらゆる人生のステージにおいてサポートできる仕事です。

## Q. 仕事を選んだきっかけ

**A.** 中学生の時、私の祖父は病気により寝たきり生活となることを医師より宣言されました。しかし、リハビリテーションを受け数ヶ月後には杖をついて歩く事ができるようになりました。私はその頃“人の役に立つ仕事に就きたい”とっていたので、この経験を機にリハビリテーションに興味を持ち、理学療法士になりたいと思いました。



リハビリテーション部  
理学療法士 福谷 早耶香さん

## Q. 仕事と生活（趣味・家事・育児）の両立について

**A.** 基本的に平日は仕事、休日はお休みになります。平日で早く帰れた日には、趣味の水泳やフットサルをしています。また、就業後は現在週1でスポーツのトレーナー活動をしています。仕事＝趣味という感覚で楽しみながらやっています。

## 福谷さんのある日のタイムスケジュール

6:00	7:00	8:00	.....	12:00	.....	18:00	19:00	.....	21:00	.....	23:00	0:00	
起床	朝食・準備	出勤		昼休み・食食		退勤		トレーナー活動	夕食	家事等・入浴	明日の準備 (弁当作り・勉強)	フリータイム	就寝

## 中高生の皆さんへ

理学療法士は、とてもやりがいのある仕事ではありますが、患者さんの未来の一部に携わっていくため、責任が必要であり正直楽な仕事ではありません。そのため、私は学生時代、本当にこの職業で良いのか、私に向いているのかと悩みながら過ごしていましたが、今では難しくも楽しみながら働くことができています。中高生の時期は今後について未来についてとても悩む時期であると思います。まずは色々なことに興味を持ち、気になることがあれば挑戦していくことが大切ではないかなと思います。



島根大学医学部附属病院は、昭和54年に設置され、現在600床を有しています。「地域医療と先進医療が調和する大学病院」を理念としており、県内唯一の特定機能病院として主に急性期医療や高度な医療を担っています。また、都道府県がん診療連携拠点病院として、包括的ながん医療を推進するとともに、地域の基幹病院として、島根県の地域医療に貢献しています。

## Q. 仕事内容や魅力について

**A.** 患者さんの病状に合わせた食事の提供や栄養指導を行っています。チーム医療にも参加し、他職種と連携しながら患者さんの栄養管理を行います。関わった患者さんの検査値が改善したり、食べることで元気になるっていく喜びを共有できることが魅力です。



栄養治療室  
栄養士 矢田 里沙子さん

## Q. 仕事を選んだきっかけ

**A.** 私の両親は医療職に就いており、小さい頃から医療に携わる仕事をしたいと思っていました。進路選択の際、栄養の知識は病気の回復をサポートだけでなく、自分や周りの人の健康を支えることにも役立つと思い、管理栄養士を目指しました。

## Q. 仕事と生活（趣味・家事・育児）の両立について

**A.** 夫と子ども（1歳）との3人暮らしですが、夫は家事や育児に協力的で分担して行っています。仕事で帰りが遅くなる時や子どもが熱を出してしまった時は、院内保育所の夕食サービスや病児保育所を利用しています。休日は買い物や食事の作り置きをしつつ、ゆっくりと子どもと過ごしています。

## 矢田さんのある日のタイムスケジュール

6:00	6:30	..	7:45	.....	12:00	.....	18:00	18:30	..	19:00	..	20:00	.....	22:00	.....	0:00	
起床	朝食・家事		出勤		昼休み		退勤	子どものお迎え	買い物	夕食の準備	夕食		子どもと遊ぶ	寝かしつけ	洗濯	翌日の食事の準備	就寝

## 中高生の皆さんへ

働きながら子育てをすることは大変なことも多いですが、好きなことだから続けられているのかなと思います。学生時代に色々なことに興味を持ち、自分の好きなことを見つけていってほしいと思います。



国立大学法人島根大学は、松江高等学校、島根師範学校など3校を統合し、1949（昭和24）年に設置され、現在、6つの学部・6つの大学院で構成される総合大学です。理系から文系まで幅広い学問分野を網羅する本学ではその特性を生かして、分野を横断した新しい教育・研究を行っています。

## Q. 仕事内容や魅力について

**A.** 大学で研究と教育の仕事をしています。高分子というものを対象に、新しい物質を作ったり、測定したりしています。研究というのはわからないものだらけで、難しい時もありますが、わからないからドキドキわくわくを感じられるのがこの仕事の一番の魅力だと思います。



## Q. 仕事を選んだきっかけ

**A.** 小さいころから科学者はかっこいいと思ったこともあり、大学では博士号まで取りました。その時まわりの先生方の生き生きとした働き方に魅力を感じ、自分も将来そうなりたいと思いました。

総合理工学部  
物質化学科 助教 王傲寒さん

## Q. 仕事と生活（趣味・家事・育児）の両立について

**A.** 休みの日は音楽を聴いたり本を読んだり、おいしい料理を作ったりします。美しい風景を見るのが好きなので、たまにはカメラをもってお出かけします。

## 王さんのある日のタイムスケジュール

6:00	7:00	8:00	9:00	.....	21:00	22:00	23:00	0:00
起床	家事・食事	フリータイム	仕事	実験 デスクワーク 講義など	帰宅・夕食	入浴	フリータイム	就寝

## 中高生の皆さんへ

文系、理系問わず、たくさんの知識を学んでください。学校の勉強はもちろんのこと、自分が興味をもったことに対してとことん追求することがこれから求められます。ぼんやりとした夢でもよいので、自分の将来について考えてみましょう。



国立大学法人島根大学は、松江高等学校、島根師範学校など3校を統合し、1949（昭和24）年に設置され、現在、6つの学部・6つの大学院で構成される総合大学です。理系から文系まで幅広い学問分野を網羅する本学ではその特性を生かして、分野を横断した新しい教育・研究を行っています。

## Q. 仕事内容や魅力について

**A.** 食品成分の化学や機能性、食品衛生などについて講義するとともに、研究室に配属される学部生や院生と機能性食品成分の吸収代謝や機能性に関する研究をしています。「食べ物がどのように体に入るのか」を予想しながら研究することを楽しんでいます。



## Q. 仕事を選んだきっかけ

**A.** 中学生の頃に理科が好きになり、化学が比較的得意で生物が好きだったため、農学部に進学しました。生体が最初に食品と接する場である消化管の機能に興味を持ち、大学院に進学したので、食品の開発研究などよりも基礎研究を続けたくて大学教員になりました。

生物資源科学部  
生命科学科 教授 室田 佳恵子さん

## Q. 仕事と生活（趣味・家事・育児）の両立について

**A.** 独身一人暮らしのため、平日は仕事中心ですが、研究は半分趣味のようなものなので苦ではありません。もっと若い頃は週末も研究に回す日が多かったのですが、最近は体力温存と頭の切り替えのため、急ぎの仕事がないときは自宅でゆっくり過ごしています。

## 室田さんのある日のタイムスケジュール

7:00	8:00	9:00	12:00	18:00	20:00	21:00	0:00
起床	朝食・身支度	出勤	午ワークが多い	長朝からスタートの時は	昼休み	講義や会議	研究室の学生と一緒に実験など
					デスクワークなど	退勤	夕食
						入浴	その他
							就寝

## 中高生の皆さんへ

理系の分野は非常に幅広く、皆さんが想像しているよりもずっと色々なことに携われると思います。最初は難しくても、諦めずに取り組んで「あ！そうか！」と感じる経験をたくさん積み重ねてください。努力して達成することで、本当の楽しさがわかります。



島根大学男女共同参画推進室ロールモデル集 Vol.4

平成 31 年 3 月発行

【編集・発行】 国立大学法人島根大学男女共同参画推進室

〒690-0854 松江市西川津町 1060

TEL : 0852-32-6018 FAX : 0852-32-6833

E-mail : [kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp](mailto:kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp)

URL : <http://gender.shimane-u.ac.jp/sgsp>



人とともに 地域とともに  
国立大学法人  
島根大学

国立大学法人島根大学  
男女共同参画推進室